

# みんなでおいしく いただきます!

おさらピカピカ  
だいさくせん





②

演出メモ

ナレーション

そんなさくら組さんへ、年長のゆり組さんから、待ちに待ったこどもパーティーの招待状が届きました。

子どもたち

「あさこ先生、早く読んで読んで。」

せかすように

ナレーション

子どもたちが集まってきました。

あさこ先生

「じゃあ読んでみるね。『さくら組さんこんにちは。来月、こどもパーティーがあります。ぼくたちわたしたちは、一生懸命みんなのために準備をしています。今度、手作りのカチューシャやちょうネクタイをプレゼントするので、パーティーはそれを着けておしゃれをして来てください。おいしいごちそうもたくさんあるよ。メニューは、グリオンピースごはん、たまねぎとしいたけのスープ、ステーキのミニトマト添え、にんじん・きゅうり・セロリのスティックサラダ、デザートはおいしいリンゴパイ。パーティーに来たらキレイにゼーンぶ食べてね。』だって。」





子どもたち

「やったあー。楽しみだなあ。わーい。わーい。」

うれしそうに

ナレーション

みんなとってもうれしそうです。

おやあ？ ひとし君はどうしたのでしょうか。

ひとし

「お肉なんて。ぼく、絶対飲みこめない！」

拒否する  
感じで

ナレーション

そういえば、かすみちゃんやみゆちゃんも。

かすみ

「かすみはごはんよりパンがいいなあ……。」

わがままな  
感じで

みゆ

「りんごやだなあ。食べられるかなあ……。」

不安そうに

ナレーション

その隣でゆうと君も心配そうな顔をしています。

ゆうと

「えー、トットツ トマト……。どうしよう。食べられるかなあ。」

自信が  
なさそうに

あさこ先生

「みんな全部食べられるよね！がんばろうね！」  
でも本当は、あさこ先生もセロリが苦手でした。

励ますように

うれしそうに

みんなとてもうれしそうに

おやあ？ ひとし君はどうしたのでしょうか。

拒否する  
感じで

そういえば、かすみちゃんやみゆちゃんも。

わがままな  
感じで

不安そうに

その隣でゆうと君も心配そうな顔をしています。

自信が  
なさそうに

「みんな全部食べられるよね！がんばろうね！」  
でも本当は、あさこ先生もセロリが苦手でした。

励ますように





ナレーション

こどもパーティーの準備はどんどん進んでいます。

ゆり組さんはカチューシャとちょうネクタイを作ってくれています。

かわいいランチヨンマットも出来上がってきました。

年中のひまわり組さんは輪つなぎを作って、お部屋をきれいに飾ってくれています。

子どもたち

「早くこどもパーティーにならないかなあ。」

ナレーション

さくら組さんも、わくわく楽しみにしています。

でも、おやおや、なんだか心配そうな子たちがいますよ。





ナレーシヨン  
それもそのはず。さくら組さんでは、いつも食べきれずに残された給食がたくさん。給食のまつこ先生と、もっこ先生も悲しそう。

まつこ先生  
「みんなが残した給食はどうなると思う?」

悲しそうに

もっこ先生  
「せっかく作った給食も残ったら全部捨ててしまうんだよ。本当にもつたいたいよね。」

ナレーシヨン  
と、まつこ先生ともっこ先生は話しました。

ろすのん  
「ぼくも悲しいのん。」

語尾に「のん」

ナレーシヨン  
まつこ先生ともっこ先生の後ろで、ろすのんが泣いています。

子ども  
「泣いているのは、だあれ?」

ろすのん  
「ぼくはろすのん。さくら組のみんなが食べ物を残して、もつたいたいと思ったから、出てきたのん。もつたいたい

語尾に「のん」

のん。悲しいのん。」

子ども  
「ろすのん、泣かないで。ぼくたち食べられるように頑張ってみるよ。」

子ども  
「でも、どうしたらいいんだろう?」

ナレーシヨン  
すると、

アルプちゃん  
「そんなときはわたしに任せて!! さあ一緒に頑張ろう!」

ヒーローっぽく

ナレーシヨン  
と、アルプちゃんが助けにやってきてくれました。いよいよ、「お皿ピカピカ大作戦」がスタートします。







ナレーシヨン トマトが苦手なゆうと君に、農家のおじさんがトマトの苗を持ってきてくれました。

おじさん 「ゆうと君。トマトはね、水をあげて、太陽の日をいっぱい浴びると、赤くて甘くなるんだよ。」

ゆうと 「え〜。本当〜?」

ナレーシヨン と言いなながらも、ゆうと君は、毎日毎日、アルプちゃんとトマトの様子を見に行きました。

## (2 / 4 抜く)

ナレーシヨン トマトの木がゆうと君の背と同じくらいになった頃、小さくて黄色いかわいい花が咲きました。

## (3 / 4 抜く)

ナレーシヨン しばらくすると、緑の小さなトマトができました。

ゆうと 「あれ、このトマト赤くないよ。」

アルプちゃん 「ゆうと君もう少し待っててごらん。トマトは最初、緑色なんだけど、もうすぐ赤くなってくるよ。」

## (全部抜く)

言い聞かせるように

ナレーシヨン アルプちゃんが言ったとおり、トマトは真っ赤になりました。  
ゆうと 「わあ。すごい!! なんだかおいしそう。ぼくちよつとだけ食べてみようかな。」  
「パクツ。あれっ? 甘い? おいしい!! 本当に甘いんだね!!」

驚いている感じで

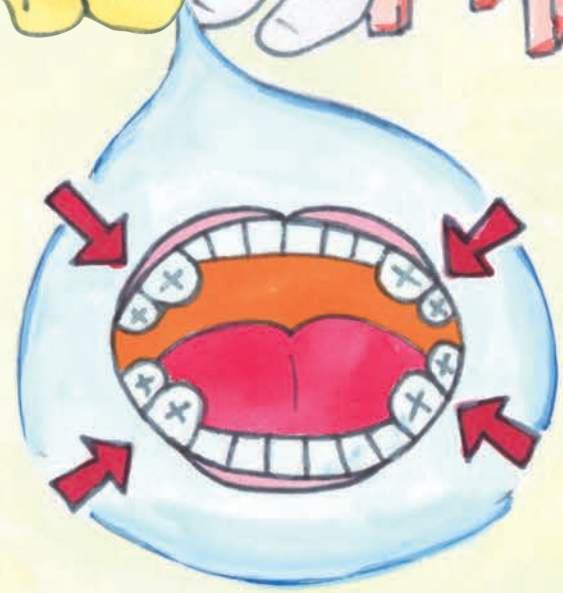
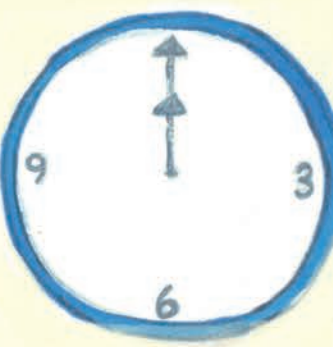
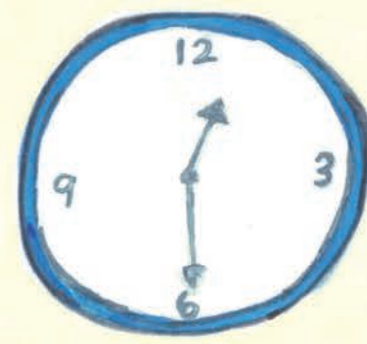
ナレーシヨン ゆうと君は、苦手だったトマトが食べられるようになりました。

## (1 / 4 抜く)

驚いている感じで









お母さん  
かすみ

「かすみちゃん、また、白いごはんばかり残して……。」  
「だって、おいしそうじゃないんだもん。」

ナレーシヨン

困っているお母さんのところに、アルプちゃんがやってきました。

アルプちゃん

「良い考えがあるよ。かすみちゃん、一緒におにぎりを作

かすみ

つてみない?」

お母さん

「おにぎり?」

お母さん

「そうね。一緒におにぎり作ってみようか。」

## (2 / 4 抜く)

ナレーシヨン

かすみちゃんとお母さんは一緒におにぎりを作ってみました。

かすみ

「うーん、難しいよう。なかなかうまくにぎれない。」

お母さん

「でも、かすみちゃん、少しずつ上手になってきたじゃない。」

## (3 / 4 抜く)

アルプちゃん

「とっっても、上手にできたね。初めてのおにぎり記念にプレゼントだよ。」

ナレーシヨン

と、アルプちゃんがチューリップやお星さまの形に切った海苔をくれました。

かすみ

「わあい!! かわいいおにぎりができた。」

うれしそうに

## (全部抜く)

アルプちゃん

「じゃあ、みんなで食べよう。」

ナレーシヨン

かすみちゃんの横でお母さんとアルプちゃんがおいしそうにおにぎりを食べはじめました。すると、

かすみ

「パクッ。おにぎりおいしい!」

ナレーシヨン

あんなにごはんが苦手だったかすみちゃんがおにぎりを食べることができました。

ろすのん

「やったのん。すごいのん。」

うれしそうに

## (2 / 3 抜く)





⑨

演出メモ

ナレーション

さあ、今日はいよいよ待ちに待った、こどもパーティーの日です。

みんな、ゆり組さんが作ってくれたカチューシャやちょうネクタイをつけておしゃれをしてわくわくどきどき。

ごはんが苦手だったかすみちゃんも、お肉が飲みこめなかったひとし君も、トマトが食べられなかったゆうと君もニコニコ自信たっぷりの様子です。

おや。みゆちゃんはどうしたのでしょうか？

**(全部抜く)**

2/3

みゆ

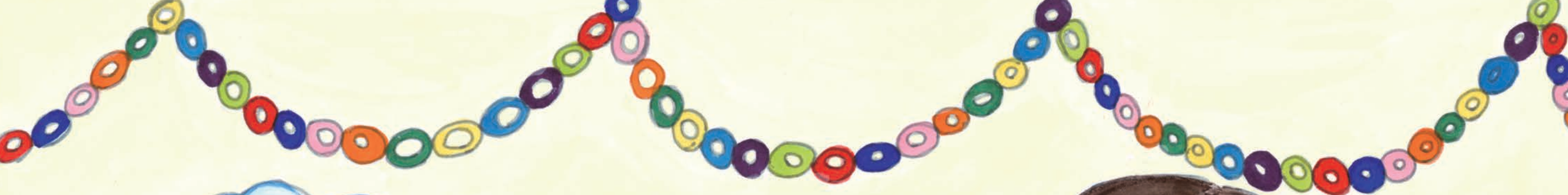
「みんなすごいな。わたし、りんご食べられるかなあ。」

不安そうに

ナレーション

みゆちゃんは心配そうにみんなを見つめています。







ナレーション パーティーでは、ゆり組さんの劇を見たり、ひまわり組さんの歌を聞いたり、園長先生の手品も見ました。とても楽しい時間の後は、いよいよ待ちに待ったごちそうです。

テーブルには、ゆり組さんがつくったランチヨンマットの上に、まつこ先生ともどこ先生が一生懸命作ってくれたごちそうが並んでいました。

子ども

「わあっ！ かわいい！」

「とっってもきれい。」

「おいしそうだなあ。先生ありがとう。」

「わあ。ごはんの上には、旗が立ってるよ。」

「はやく食べようよ。」

ナレーション

テーブルの上のりんごを見たみゆちゃんはびっくり。だって、りんごがかわいいうさぎさんになっていたのです。

みゆ

「みゆ。うさぎちゃん大好き。これなら食べられるかも！」

まつこ先生、もどこ先生、ありがとう。」

うれしそうに

ナレーション

まつこ先生ももどこ先生もうれしそう。ゆり組さんもひまわり組さんもニコニコ見えています。

うれしくて  
うさぎさんで  
した感じで





子ども

「いただきますあす。」

「本当においしい！」

「みんなで食べるとおいしいね。」

「おかわり！」

「ぼくにも！」

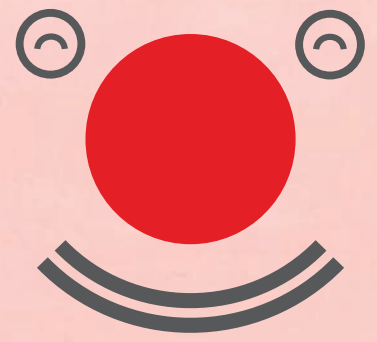
「わたしにもちょうだい！」

ナレーション  
ぱくぱくおいしそうに食べている子どもたちを見て、アルプちゃんとうろすのんもうれしそうです。

アルプちゃん  
「こんなに食べられるようになって、すごいね、みんな。」

ろすのん  
「よかったのん。うれしいのん。」

にこにこほいくえん  こどもぱーてぃー





子ども

「ごちそうさまでした。」

「おいしかったね。」

「見て、ぼくのお皿ピカピカ。すごいでしょ。」

誇らしげに

「この旗とランチョンマット持って帰っていい？」

ナレーション

子どもたちのお皿は、全部空っぽ。食べられないものがあつた子どもたちもみんなキレイに食べることができました。

こどもパーティー大成功！！

あれえ。先生の様子がちよつと変ですよ。

誇らしげに

子ども

「あさこ先生どうしたの？」

あさこ先生

「それがあ。そのお。えつとお。みんなには言いづらいんだけど……。先生、本当は……。セロリが食べられないの。がんばったけど、今日も食べられなかったの。」

申し訳  
なさそうに

子ども

「なあんだ。先生も食べられないものあつたんだ。大丈夫。僕たちが食べられるように応援してあげるよ。」

励ますように

あさこ先生

「ありがとうみんな。先生、がんばる！」

ナレーション

あさこ先生は、来年のこどもパーティーまでにセロリを食べられるようになるでしょうか。

みんなはごはんを残してもったいないことしていかないかな？アルプちゃんとりすのんが、みんなを見ているかもしれないよ。

語りかける  
ように

(おしまい)





「みんなでおいしくいただきます！」  
　　くお皿ピカピカ大作戦！」

絵・文・脚本　まみあ・ちか

アドバイス　竹迫　祐子

①

演出メモ

ナレーション

にこここ保育園で一番楽しい日。それは「こどもパーティー」の日。だってその日は、みんなでおしゃれをして集まって、楽しいゲームをして、いっぱいごちそうを食べるんですから。

年少のさくら組さんには、初めてのことどもパーティー。

みんなその日を楽しみにしています。

「にこここ保育園」はそれぞれの保育園名に自由に変更可